

宇部のコミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール成功の鍵

コミュニティ・スクール（以下、CS）の設置が努力義務化（平成 29 年 4 月）され、全国の CS の数が増えています。CS 制度の普及が進む中で、学校と地域が互いにパートナーとして「win & win」の関係であり続けるためには、安定的に CS に参画する人材を確保したり、学校と地域との連携・協働関係を維持・発展したりするといった視点が必要であるといわれます。言い換えると「持続可能性」のための視点です。子どもの学びや学校教育活動を通じて多くの人に関わることを大切な縁としながら、人と人がつながり続ける。その縁をいかにつなげるか、つながり続けられるかが、「地域とともにある学校（CS）づくり」の成功の鍵だと思えます。

◎「コミュニティ・スクール」「地域協育ネット」の取組紹介

西岐波小学校運営協議会

2月13日に第3回学校運営協議会が開催されました。

学校評価の結果説明に続き、全教職員と学校運営協議会委員さんによるグループ協議が行われました。成果や課題、今後の取組を話し合う中で、子どもたちのために教職員が真摯に職務に取り組んでいることが運営協議会委員さんに伝わっていました。

学校と地域がめざす子どもの姿や課題を共有し、西岐波小の子どもを育てていく上で大きな一歩となる取組だと思いました。



【先生方と地域の方の思いや願いがつながり動き出す意義深い会となりました。】

西岐波中学校区協育ネット（KIWA ネット）協議会

2月14日に第2回地域協育ネット協議会が開催されました。来年度の共通実践項目を協議する前に、中学校区の状況について SWOT 分析^(注)が行なわれました。協育ネット委員の方が校区のプラスとマイナス要素を発表される中から、小中連携や地域の団体のつながりがよいこと、子どもたちがふるさとを愛する心を育む取組が充実していることなどが見えてきました。一方、地域づくりを担う次世代の育成や保護者の地域づくりにかかわる動きを活性化する方策などに課題があることも見えてきました。今回の分析は、校区のよさと課題を意識し、共通の目標実現をめざして学校、PTA、地域が既存の取組を充実させるきっかけになったと思いました。

(注)SWOT 分析とは、組織の現状分析のために使われる作業。組織を、「強み (Strength)」「弱み (Weakness)」「機会 (Opportunity)」「脅威 (Threat)」の 4 つの軸から評価する。

小羽山小学校運営協議会(拡大協議会)

2月15日に第7回学校運営協議会(拡大協議会)が開催されました。3部会(学び、心みがき、絆づくり)のグループ協議は、前回(6月)に出された「取組の課題とアイデア」(実行可能性の度合いで整理した資料)を手元に置きながら進められました。

実現されたアイデア(成果)を確認しながら、学校の課題解決に向けた協議が行われました。小羽山の子どもたちが主体性をもち心豊かに育っていることが学校・家庭・地域で共有された質の高い協議会でした。



【めざすものを共有し、実現に向けた活発な協議でした。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp